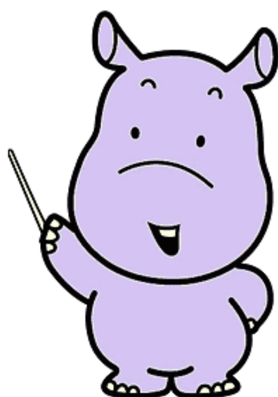
T00000173059

横浜市雨量監視システム
取扱説明書
（一般公開用ＷＥＢ画面編）



２０１４年３月

－目次－

１．共通編

１．１ はじめに

横浜市雨量監視システム 一般公開用ＷＥＢ画面は、インターネットに接続された端末上のインターネット用のブラウザから閲覧する事を目的としています。

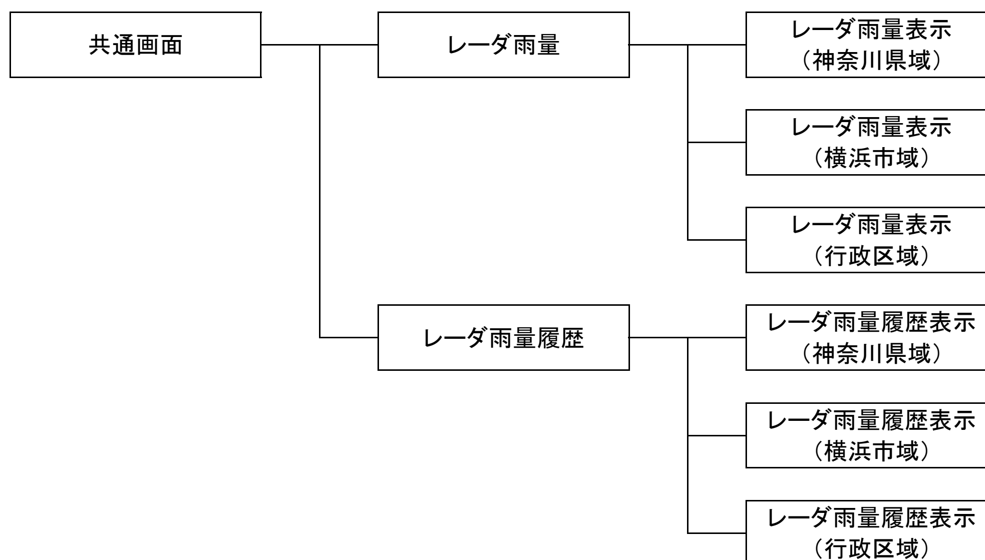
１．２ ＷＥＢ表示用ＰＣのシステム要件

対応ＯＳ	:	Windows Vista SP2 , Windows 7 SP1 , Windows 8
対応ブラウザ	:	Internet Explorer7、8、9、10、11
推奨画面サイズ	:	1024 × 768 以上

※上記を満たす画面サイズであっても、ブラウザの表示オプション等によってはＷＥＢ画面が正常に表示できない場合があります。

１． ３ 画面構成図

横浜市雨量監視システム 一般公開用ＷＥＢ画面の画面構成は以下の通りとなっています。



１． ４ 画面の表示方法

インターネット用ブラウザから、以下のＵＲＬへアクセスしてください。

レインアイよこはま ：http://raineye.city.yokohama.lg.jp

１．５ 年月日指定カレンダー操作方法について

履歴表示にて使用可能な月日指定カレンダーは、以下の様に操作可能です。



① 目的の日の日付指定ボタンをクリックします。



注意：履歴データを保持していない日は、 のように灰色で表示されます。この場合、選択不可となります。



注意：選択対象月で、履歴データを保持していない場合、該当の月ジャンプボタンは表示されません。
この場合、その月は選択不可となります。

１．６ 履歴データ未保持の場合の画面表示について

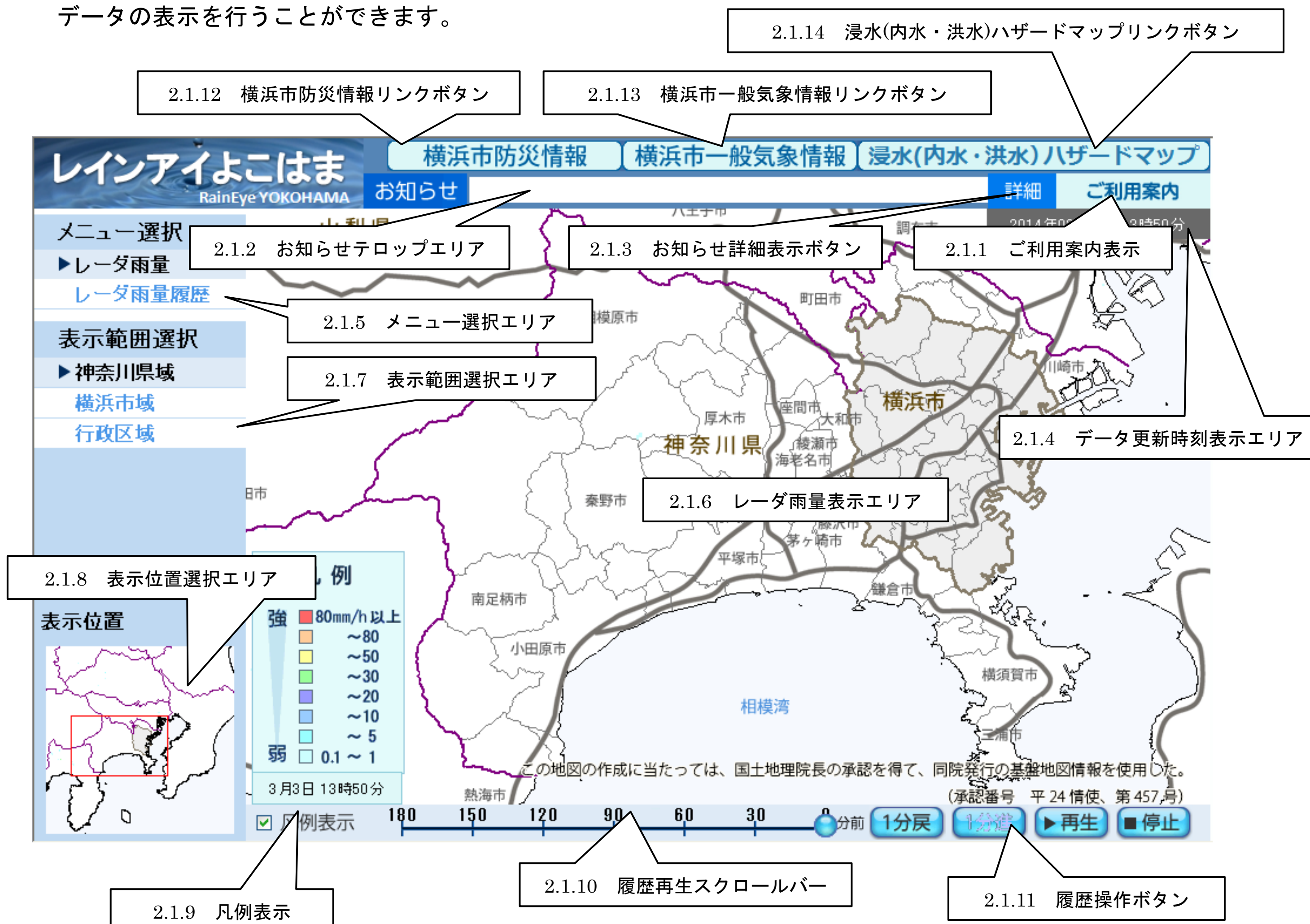
各履歴データを表示する際、下記の様に画面上に薄水色の斜線が描画された画面が表示される場合があります。この場合、表示中の画面における履歴データ未保持であることを示しています。



2．レーダ雨量 編 ....

2．１ 画面構成

本画面は、表示時刻までに受信しているレーダ雨量データ及び受信済みレーダ雨量データから１８０分前までのデータの表示を行うことができます。



2.1.1　ご利用案内表示

クリックする事により、ご利用案内画面が表示されます。

2.1.2　お知らせテロップエリア

お知らせ情報がテロップで表示されるエリアです。

2.1.3　お知らせ詳細表示ボタン

クリックする事により、お知らせ情報の詳細ウインドウが表示されます。

2.1.4　データ更新時刻表示エリア

表示中のレーダ雨量データの観測時刻が表示されます。

2.1.5　メニュー選択エリア

選択可能なメニューが表示され、クリックにより選択した画面が表示されます。

2.1.6　レーダ雨量表示エリア

国土交通省から受信したレーダ雨量画像データが表示されます。

表示エリアは、ドラッグ操作（マウス操作でクリックしたまま動かす事）により、スクロール表示ができます。

初期表示状態の場合、１分毎の国土交通省のレーダ雨量データの受信にあわせ、自動更新を行います。



注意：レーダ雨量データ受信がされなかった場合は、受信するまで自動更新されません。

2.1.7　表示範囲選択エリア

レーダ雨量表示エリアで表示中の範囲を塗りつぶしで表示します。

このエリアをクリックする事により、レーダ雨量表示エリアの表示が移動します。

選択可能領域は、以下の通りです。

・神奈川県域

・横浜市域

・行政区域

行政区域を選択の場合は、表示対象とする区域をプルダウンメニューにて選択可能となります。行政区域の一覧については、付録１をご参照ください。

2.1.8　表示位置選択エリア

レーダ雨量表示エリアで表示中の範囲を赤色四角枠で表示します。

この四角枠をマウス左ボタンでドラッグする事により、レーダ雨量表示エリアの表示が移動します。

2.1.9　凡例表示

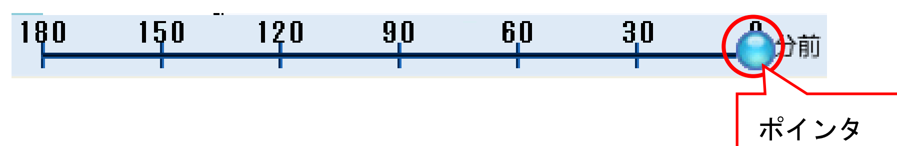
レーダ雨量データの凡例を表示します。

チェックボックスのＯＮ／ＯＦＦにより凡例の表示・非表示を切り替える事が可能です。
凡例表示下部に表示されている時刻表示は、常に表示され非表示には出来ません。



2.1.10　履歴再生スクロールバー

ポインタ（下図）のドラック、またはスクロールバーを押下する事により、過去の雨量データを表示します。



2.1.11　履歴操作ボタン

『１分戻』.......................................：履歴表示設定バーに表示されている時間を１分前の時間に変更します。
『１分進』 ....：履歴表示設定バーに表示されている時間を１分後の時間に変更します。
『再生・一時停止』 ....：履歴表示設定バーに表示されている時間から、現在時刻（０分前）まで履歴データを連続再生します。
『停止』：連続再生を停止し、現在時刻（０分前）を表示します。

2.1.12　横浜市防災情報リンクボタン

ポインタを押下する事により、横浜市防災情報画面へ遷移します。

2.1.13　横浜市一般気象情報リンクボタン

ポインタを押下する事により、横浜市一般気象情報画面へ遷移します。

2.1.14　浸水(内水・洪水)ハザードマップリンクボタン

ポインタを押下する事により、浸水(内水・洪水)ハザードマップ画面へ遷移します。

２．２ 操作方法

2.2.1 レーダ雨量を表示する

① メニュー選択エリアの『レーダ雨量』を選択します。
② 表示を行う範囲を表示範囲選択から選択します。
③ 行政区域を選択した場合は、表示を行う行政区域をプルダウンメニューより選択します。選択後、自動で表示領域を移動します。

2.2.2 レーダ雨量履歴を表示する（現在の最新データを０分基準とした履歴表示）

① 上記「レーダ雨量を表示する」の①から③までを実施し、履歴表示を行うレーダ雨量を表示します。
② １８０分前から表示を行う場合は、履歴操作ボタンの『再生ボタン』をクリックすると、再生が開始されます。
③ １８０分前までの任意の時間から履歴再生を行う場合は、『履歴再生スクロールバー』をマウスの左クリックでスライドし、履歴操作ボタンの『再生ボタン』をクリックすると再生が開始されます。
④ 履歴操作ボタンの『１分前・１分進ボタン』をクリックすることにより、『履歴再生スクロールバー』の現在位置から１分前・１分後の受信データを表示することができます。なお、履歴再生中は、『１分前・１分進ボタン』は使用できませんので、履歴再生を停止してご使用ください。
⑤ ②・③いずれの場合においても、履歴操作ボタンの一時停止ボタンをクリックすることにより、履歴再生を一時停止することができます。『一時停止ボタン』にてクリックして停止の場合には、『再生ボタン』をクリックすることにより、その位置から再生を再開することができます。
⑥ ②・③いずれの場合においても、履歴操作ボタンの停止ボタンをクリックすることにより、履歴再生を停止することができます。『停止ボタン』クリックにて停止した場合は、ポインタが０分の位置に戻り、最新レーダ雨量データを表示します。

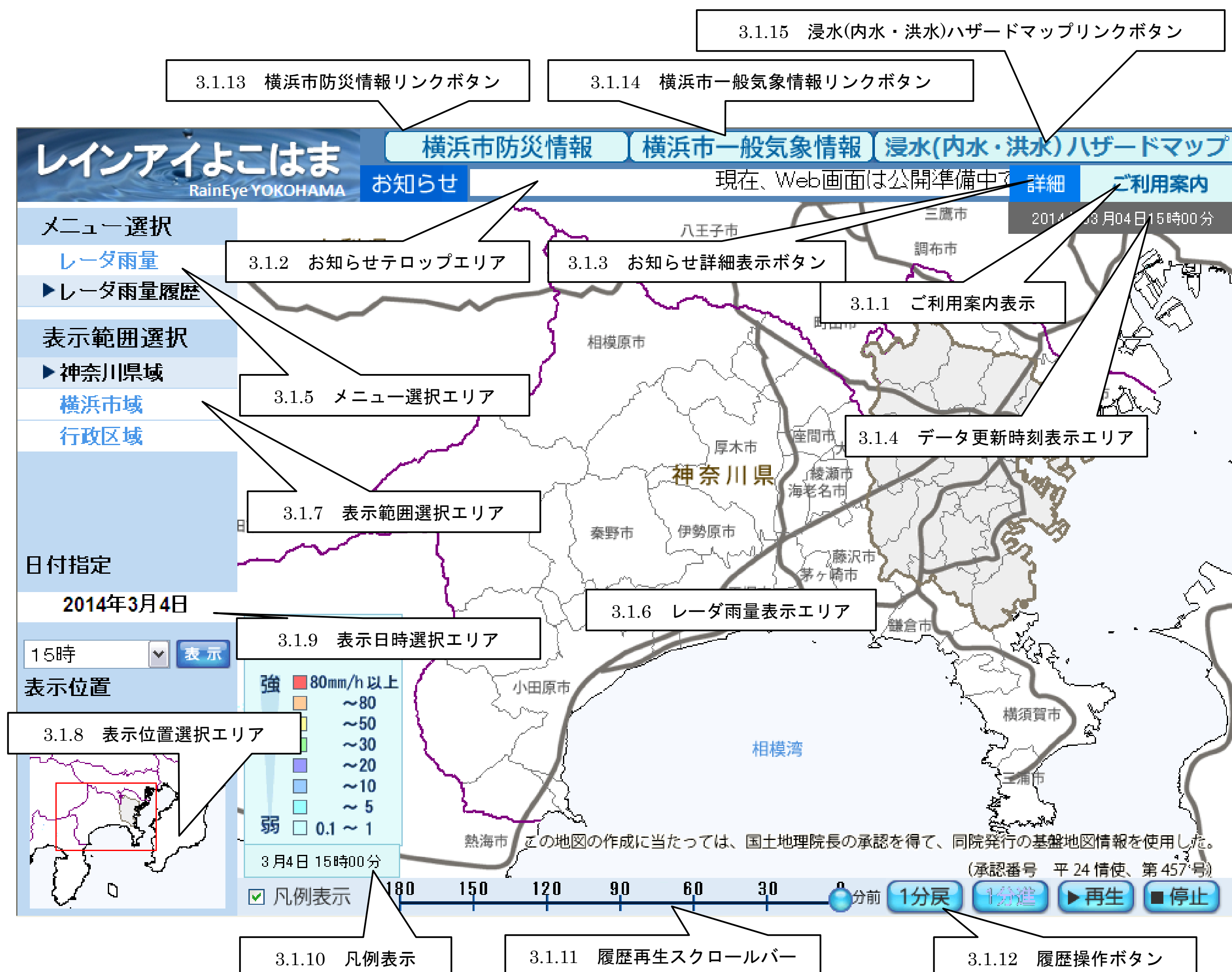
2.2.3 表示する領域を変更する

① 表示を行う領域を選択することにより、表示領域を変更することが可能です。
② レーダ雨量表示エリアの地図上をマウスの左ボタンでドラッグすることにより、地図の任意位置を表示することができます。
③ 表示位置選択エリアの地図上をマウスの左ボタンでドラッグすることでも、任意位置を表示することが可能です。
④ 表示範囲選択より表示エリア選択を行うと任意領域選択が解除となり、選択した領域が再表示されます。

３．レーダ雨量履歴 編

３．１ 画面構成

本画面は、レーダ雨量の任意日時における履歴データを表示することができます。



3.1.1　ご利用案内表示

クリックする事により、ご利用案内画面が表示されます。

3.1.2　お知らせテロップエリア

お知らせ情報がテロップで表示されるエリアです。

3.1.3　お知らせ詳細表示ボタン

クリックする事により、お知らせ情報の詳細ウインドウが表示されます。

3.1.4　データ更新時刻表示エリア

表示中のレーダ雨量データの観測時刻が表示されます。

3.1.5　メニュー選択エリア

選択可能なメニューが表示され、クリックにより選択した画面が表示されます。

3.1.6　レーダ雨量表示エリア

国土交通省から受信したレーダ雨量画像データの指定した過去分が表示されます。
表示エリアは、ドラッグ操作（マウス操作でクリックしたまま動かす事）により、スクロール表示ができます。
初期表示では、データ処理装置にて履歴を保持している直近の正時を表示します。また、履歴データの再生中以外は自動更新を行いません。

3.1.7　表示範囲選択エリア

レーダ雨量表示エリアで表示中の範囲を塗りつぶしで表示します。
このエリアをクリックする事により、レーダ雨量表示エリアの表示が移動します。
選択可能領域は、以下の通りです。

・神奈川県域
・横浜市域
・行政区域

行政区域を選択の場合は、表示対象とする行政区域をプルダウンメニューにて選択可能となります。行政区域の一覧については、付録１をご参照ください。

3.1.8　表示位置選択エリア

レーダ雨量表示エリアで表示中の範囲を赤色四角枠で表示します。
この四角枠をマウス左ボタンでドラッグする事により、レーダ雨量表示エリアの表示が移動します。

3.1.9　表示日時選択エリア

レーダ雨量表示エリアで履歴表示を行う日時を過去３ヶ月で選択可能です。
選択後、履歴再生ボタンをクリックすることにより、レーダ雨量表示エリアに履歴再生が行われます。

3.1.10　凡例表示

レーダ雨量データの凡例を表示します。

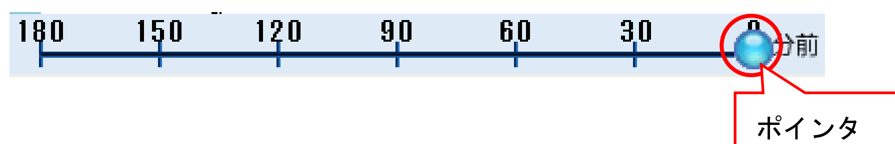
チェックボックスのＯＮ／ＯＦＦにより凡例の表示・非表示を切り替える事が可能です。

凡例表示下部に表示されている時刻表示は、常に表示され非表示には出来ません。



3.1.11　履歴再生スクロールバー

ポインタ（下図）のドラック、またはスクロールバーを押下する事により、過去の雨量データを表示します。



3.1.12　履歴操作ボタン

『１分戻』…………………………………：履歴表示設定バーに表示されている時間を１分前の時間に変更します。

『１分進』…………………………………：履歴表示設定バーに表示されている時間を１分後の時間に変更します。

『再生・一時停止』　………………………：履歴表示設定バーに表示されている時間から、現在時刻（０分前）まで履歴データを連続再生します。

『停止』　　　　　　　　　　　　　　　：連続再生を停止し、現在時刻（０分前）を表示します。

3.1.13　横浜市防災情報リンクボタン

ポインタを押下する事により、横浜市防災情報画面へ遷移します。

3.1.14　横浜市一般気象情報リンクボタン

ポインタを押下する事により、横浜市一般気象情報画面へ遷移します。

3.1.15　浸水(内水・洪水)ハザードマップリンクボタン

ポインタを押下する事により、浸水(内水・洪水)ハザードマップ画面へ遷移します。

３．２ 操作方法

3.2.1 レーダ雨量履歴を表示する（任意日時を基準とした履歴表示）

① メニュー選択エリアの『レーダ雨量履歴』をクリック選択します。

② 表示を行う範囲を表示範囲選択から選択します。

③ 行政区域を選択した場合は、表示を行う行政区域をプルダウンメニューより選択します。選択後、自動で表示領域を移動します。

④ 表示を行う日時を表示日時選択エリアのカレンダーおよびプルダウンメニューにて選択します。

⑤ 『履歴再生ボタン』をクリックすることにより、指定した日時の１８０分前から履歴再生を開始することができます。履歴操作ボタンの『再生ボタン』をクリックすることでも履歴再生を開始可能です。

⑥ １８０分前までの任意の時間から履歴再生を行う場合は、『履歴再生スクロールバー』をマウスの左クリックでスライドし、履歴操作ボタンの『再生ボタン』をクリックすると再生が開始されます。

⑦ 履歴操作ボタンの『１分前・１分進ボタン』をクリックすることにより、『履歴再生スクロールバー』の現在位置から１分前・１分後の受信データを表示することができます。なお、履歴再生中は、『１分前・１分進ボタン』は使用できませんので、履歴再生を停止してご使用ください。

⑧ ②・③いずれの場合においても、履歴操作ボタンの一時停止ボタンをクリックすることにより、履歴再生を一時停止することができます。『一時停止ボタン』にてクリックして停止の場合には、『再生ボタン』をクリックすることにより、その位置から再生を再開することができます。

⑨ ②・③いずれの場合においても、履歴操作ボタンの停止ボタンをクリックすることにより、履歴再生を停止することができます。『停止ボタン』クリックにて停止した場合は、ポインタが０分の位置に戻り、最新レーダ雨量データを表示します。

3.2.2 表示する領域を変更する

① 表示を行う領域を選択することにより、表示領域を変更することが可能です。

② レーダ雨量表示エリアの地図上をマウスの左ボタンでドラッグすることにより、地図の任意位置を表示することができます。

③ 表示範囲選択より表示エリア選択を行うと任意領域選択が解除となり、選択した領域が再表示されます。

4. 付録

別表１　行政区域　選択項目一覧

	行政区域名称	備考
1	青葉区	
2	旭区	
3	泉区	
4	磯子区	
5	神奈川区	
6	金沢区	
7	港南区	
8	港北区	
9	栄区	
10	瀬谷区	
11	都筑区	
12	鶴見区	

	行政区域名称	備考
13	戸塚区	
14	中区	
15	西区	
16	保土ケ谷区	
17	緑区	
18	南区	